

各 位

2022年7月15日

パナソニック株式会社

SBIホールディングス株式会社

SBIインベストメント株式会社

## パナソニック株式会社とSBIインベストメント株式会社による コーポレートベンチャーキャピタルファンドの共同設立に関するお知らせ

パナソニック株式会社（本社：東京都港区、代表取締役 社長執行役員 CEO：品田 正弘、以下「パナソニック」）と SBI ホールディングス株式会社（本社：東京都港区、代表取締役社長：北尾 吉孝）の 100%子会社である SBI インベストメント株式会社（本社：東京都港区、代表取締役 執行役員会長兼社長：北尾 吉孝、以下「SBI インベストメント」）は、パナソニックのくらし事業領域に強みを持つ国内外の有望なスタートアップ企業を投資対象とする CVC（コーポレートベンチャーキャピタル）ファンド「PC - SBI 投資事業有限責任組合」（通称「パナソニックくらしビジョナリーファンド」、以下、「本ファンド」）を共同で設立しましたので、お知らせします。

パナソニックは「人・社会・地球を健やかにする」というミッションを掲げ、「人を想う技術と創造力で、くらしを支えるベストパートナー」になることを目指しています。ミッションの実現に向け、自社で培った強みだけでなく、その周辺領域にある社外の知見や技術を組み合わせることで、複雑化、融合化する技術に適合した事業機会の創出を図るため、本ファンドを設立することとしました。

本ファンドは、一人ひとりの Well-being 実現に向け、くらしに関わる「エネルギー」、「食品インフラ」、「空間インフラ」、「ライフスタイル」といった事業領域に強みを持つ国内外の有望なスタートアップに対して、今後 10 年間で 80 億円の投資を行う予定です。

SBI インベストメントは SBI グループの投資事業における中核的企業であり、「新産業クリエイター」として、AI、ブロックチェーン、フィンテック、IT、バイオ・ヘルスケア、環境エネルギー分野等の次世代の成長分野のベンチャー企業に投資を行っており、運営する CVC ファンドの 2022 年 7 月時点における累積出資約束金額は国内最大級の 1,100 億円超となっています。

パナソニックは、有望なスタートアップの技術や事業を発掘・育成してきた SBI インベストメントが持つ豊富なネットワークと知見を活かし、外部環境・顧客価値の変化への対応力を一段と強化していきます。今後は、本ファンドの活動を通じ、スタートアップのビジョンおよびパナソニックの目指すべき姿の実現に向けて、取り組んでいきます。

【本ファンドの概要】

ファンド名	PC-SBI 投資事業有限責任組合
通称	パナソニックくらしビジョナリーファンド (英文名: Panasonic Kurashi Visionary Fund)
ファンド規模	80 億円
運用期間	10 年間
投資領域	1. Well-being 分野 2. 脱炭素・省資源・エネルギー分野 3. 食品インフラ分野 4. 空間インフラ分野 5. 新たなライフスタイル分野
運営会社	SBI インベストメント株式会社

以上

\*\*\*\*\*

本プレスリリースに関する報道関係者お問合せ先：

パナソニック株式会社 CEO 室 広報部 03-6218-1240

SBI ホールディングス株式会社 コーポレート・コミュニケーション部 03-6229-0126